

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	景観まちづくり推進事業			事業番号	25-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	都市政策課	飯田 裕一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり	
		施策展開の方向	1	愛着のある美しいまちをつくる	
		施策	25	地域の個性あふれるまちづくりの推進	
予算事業名	景観まちづくり推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度 ~		終了年度	-
関連法令等	都市計画法、景観法、屋外広告物法、地域まちづくり推進条例				
国・県の計画等	-			計画期間	-
関連個別計画	総合計画、都市マスタープラン、景観計画、緑の基本計画、環境基本計画			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	ハードからソフトへのまちづくりの流れ、また、近年における魅力ある個性的なまちなみや景観に対する市民の関心の高まりから、平成21年5月1日に景観法に基づく景観行政団体に移行し、平成25年12月に景観法に基づく景観計画及び伊勢原市景観条例を定め、平成26年4月に施行しました。引き続き、良好な景観の形成に向けた景観まちづくりをさらに推進していきます。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原のまちに対する市民の誇りと愛着を醸成するとともに、個性や魅力にあふれ、ゆとりと潤いのある景観づくりを進め、より良い生活環境の形成を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	全市域における景観まちづくりの取組や建築行為等				
事業内容 (手段、手法など)	・景観写真展など、市民参加・協働による景観まちづくりに取り組むとともに、景観計画等に基づき、大山地区における景観重点地区指定等に取り組めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	景観計画・景観ガイドラインの推進	継続実施		継続実施	
	地域における景観まちづくり	取組支援・大山地区ガイドライン検討		取組支援・重点地区指定手続	
景観まちづくり啓発事業	写真展・シンポジウムの実施		写真展・シンポジウムの実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	景観まちづくりの取組件数	3件	4件	4件	



事業実施(Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	景観法及び景観条例に基づき、建築物の建築等に係る適切な協議誘導を行います。 景観計画に基づき、大山地区の景観重点地区指定に係る、地区住民との合意形成を図るとともに、景観重点地区指定に向けた取組を進めます。 併せて、市民協働事業など、多様な主体との連携により、景観まちづくりの取組を進めます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 株式会社アーバンデザインコンサルタント
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	景観計画・景観ガイドラインの推進	継続実施	継続実施
	地域における景観まちづくり	取組支援・大山地区ガイドライン検討	取組支援・重点地区指定取組
	景観まちづくり啓発事業	写真展・シンポジウムの実施	写真展・表彰式
<b>実施した取組の内容</b>	大山地区の景観重点地区の指定に向けて、地元観光振興会との協働により、アンケート調査を実施しました。景観写真展及び表彰式を開催し、良好な景観形成について理解を深めました。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>
			<b>28年度</b>
	景観まちづくりの取組件数	3件	4件
			3件

年度		28年度 実績				29年度 実績			
<b>事業費合計 (a)</b>		2,877		千円	2,373		千円		
内訳	国県支出金 ①	842		千円	682		千円		
	地方債 ②	0		千円	0		千円		
	その他特財 ③	0		千円	0		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	2,035		千円	1,691		千円		
<b>国県支出金の内容</b>		神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金 補助率: 1/3							
コスト	その他特財の内容	受益者負担 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.32	人	2,768	千円	0.25	人	2,183	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.32	人	2,768	千円	0.25	人	2,183	千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				5,645	千円			4,556	千円
単位当たりコスト	対象数	定義 啓発事業等参加者数		単位	定義 啓発事業等参加者数		単位		
	対象数	1,112		人	1,294		人		
	総事業費/対象数	5,076		円	3,521		円		

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	大山地区の景観重点地区の指定に向けて、住民の意向把握のため、地元観光振興会との協働により、地元自治会の協力を得て、アンケート調査を実施しました。景観写真展及び表彰式を開催し、良好な景観形成について理解を深めました。また、景観法及び景観条例の適切な運用により、建築行為等に関する景観誘導を行いました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	A	他都市の事業内容等	景観計画の推進に向け、地域固有の景観資源である大山地区の景観重点地区の指定の取組を地域と協働により進めました。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	景観計画や景観条例の着実な運用により、景観に配慮した建築物や公共施設等の事例は、着実に積み上げられています。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	地区住民等と連携して、大山地区の景観重点地区指定に向けた取組を進めました。また、建築物の適切な景観誘導が行えるように、これまでの誘導実績やノウハウを生かすなど、効率的な運営に努めました。



取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
<b>事業推進上の課題</b>	景観まちづくりを継続的に取り組んでいくためには、多様な事業との連携を積極的に進めていく必要があります。これまでの取組を生かし、様々な主体との連携により、景観まちづくりを推進します。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	景観法及び景観条例に基づき、建築物の建築等に係る適切な協議誘導を行います。景観計画に基づき、大山地区景観重点地区指定に向けた取組を進めます。
<b>所管部長による総評</b>	景観法及び景観条例に基づき、公共施設や民間建築物等において、景観への配慮事例が着実に増加しています。今後も、景観計画の一層の推進に向け、大山地区の景観重点地区の指定をはじめ、景観まちづくりの方針に基づく取組を着実に進め、個性と魅力にあふれるまちづくりを推進していく必要があります。